



連絡会NEWS夏

協同組合東京都水道請負工事連絡会
〒103-0001 東京都中央区日本橋
小伝馬町 15-18 フジビル 9階
TEL 03-6264-9867 FAX 03-6264-9869
<http://www.renrakukai.org>

災害対策室(連絡会会議室)



災害対策室での訓練



被災状況や従業員の安否確認



備蓄品の確認

参集訓練



現地に参集した組合員

令和7年度

防災訓練を実施

災害協定・行動マニュアルに基づき 機動力・技術力・派遣経験を踏まえ

令和7年度の防災訓練が11月7日、連絡会会議室(中央区日本橋)および川崎市内で実施された。本訓練は、東京都の給水区域内で大規模地震が発生し、広域にわたる断水および漏水被害が生じたとの想定のもと行われた。防災訓練は東京都水道局と締結している「災害時における水道施設等の応急措置の協力の協定」並びに東京都水道局が策定した「災害時行動マニュアル」を適切に実施するために実施されたもので、組合と協定を締結している協賛会社との連携訓練となった。

訓練では、指定場所への参集訓練をはじめ、組合員の安否確認や被災状況に関する情報を迅速かつ正確に収集・伝達する訓練、さらに仮設配管等を用いた応急措置の実技訓練が行われた。連絡会会議室に設置された「災害対策室」には理事らが参集し、組合員の安否確認、断水・濁水などの被災状況、道路規制情報の収集を行い、東京都水道局および組合員に対して情報を提供を実施した。あわせて、自主調達可能な管材料や交通誘導員の確保などについて、協定を締結している協賛各社から円滑な提供を受けるための手順を確認した。

実技訓練では、①給水管配管部分の応急措置、②配水小管部分の応急措置、③仮設配管を使用した仮給水を行う応急措置の3項目について訓練を実施した。

訓練の進行役は連絡会南部支所の星勝行氏(株式会社星工業所)が務め、アシスタントとして株式会社新光工業の松永氏、福田氏が参加した。

訓練に先立ち星氏は、当組合が有する機動力、技術力、災害地派遣の経験を踏まえ、技術者の確保や応急措置・応急給水活動に不可欠な熟練工の育成に努めており、毎年訓練を重ねている。本日の訓練は、震災に

内実実施され、連絡会会員が現地に参集した。

より漏水が発生した配水小管および各家庭に供給する給水管について、断水させることなく応急措置を行うことを目的としている」と訓練の趣旨を説明した。

応急措置訓練では、震災により漏水が発生したとの想定のもと、次の訓練が行われた。

①マイナス19.6度の液体窒素を用いて給水管内の水道水を凍結させる凍結工法による給水管の応急措置

②特殊継手を用いた配水小管からの漏水に対する応急措置

③破損箇所を意図的に断水し、仮配管工法により仮給水を行う複数箇所漏水への

ちの力で一日も早く日常を取り戻せるよう、引き続き取り組んでいきたい」と述べた。

実技訓練には、東京都議会公明党上下水道整備促進議員連盟会長の伊藤興一議員および高久則男議員が来賓として参加した。

伊藤会長は、「実践的な人材育成と技術継承の重要性を改めて実感した。令和6年能登半島地震や、今年夏の台風被害を受けた八丈島での支援を通じ、水の尊さを痛感している。水道事業を担う皆様を、議会として今後も全力で支えていきたい」と述べた。

また、東京都水道局からは、藤川和久給水部長、若林孝介給水課業務改革推進担当課長、高見文教配水課統括課長代理、梅野秀紀給水課統括課長代理、田中高志給水課課長代理が来賓として参加した。

藤川部長は、「熱意あふれる訓練を拝見し、迅速かつ丁寧な応急措置は、日頃の技術の積み重ねによるものと実感した。首都直下地震など大規模災害に備え、復旧には事業者の力と平時からの連携、ノウハウの共有が不可欠である。東京都水道局としても、今後とも協力・連携を一層強化していきたい」と語った。

東京都水道株式会社からは、野田数代表取締役社長、柿沼誠水道技術本部長が参加した。

野田社長は、「防災訓練を通じ、迅速な初動対応からの確かな連携、安全管理に至るまで、高い技術力を改めて実感した。近年相次ぐ風水害や断水被害を踏まえ、早期復旧という社会的使命と平時からの備えの重要性を強調したい。東京都水道としても、今後、連絡会や東京都水道局、関係機関との連携をさらに深めていきたい」と述べた。

閉会にあたり、岩澤芳光理事長代理は、「防災訓練は、ライフラインの復旧を迅速に行うために極めて重要である。技術継承や雇用・経営環境、施工環境などさまざまな課題はあるが、当連絡会としても日々の活動を通じて鍛錬を重ねていきたい」と述べ、令和7年度防災訓練の全日程を終了した。

未来へつなぐ 人をつくる

住設資材、配管資材、空調資材、上下水道、環境資材を中心に、人や街のより良い環境づくりをお手伝いします。

Arca de F
アルカ・デ・エフ ホールディングス株式会社

富士機杖株式会社

本社：〒102-8373 東京都千代田区一番町12 TEL (03) 3556-4500 FAX (03) 3556-4501 <https://www.fujikizai-g.co.jp/>
拠点：東京・東東京・西東京・神奈川第一・神奈川第二・埼玉・千葉・北海道・東北・郡山・いわき・宇都宮・茨城・土浦営業所・群馬・静岡・甲府・中部・関西・京都事務所・九州・九州土木インフラ・北九州営業所

Daiichi Keiri

株式会社 第一 経 理 行政書士法人 第一 パートナース

会計・給与計算 建設業許可・経営事項審査
競争入札参加資格申請

〒171-0022 東京都豊島区南池袋1丁目13番2号
TEL 03-3980-9058 FAX 03-3980-9127

〒171-0022 東京都豊島区南池袋1丁目13番2号
TEL 03-5957-1135 FAX 03-5957-1136



仮設配管を使用しての訓練

ごあいさつ



藤川部長



貝澤代表理事



高久議員



伊藤議員



岩澤理事長代理



野田社長



訓練の開始の号令



訓練終了後、スーパー Re パイプ H 工法の説明を受ける来賓

実技訓練ダイジェスト



-196°の液体窒素を用いた訓練



漏水箇所を適切に応急処置

【馬込資材センター】 建設土木資材販売 / 残土・がれき類受入

住 所：〒143-0021 東京都大田区北馬込 2-12-1 TEL：03-5709-4373



【受入・販売品目】

- ① がれき類(アスガラ・コンガラ)の受入
- ② 建設発生土の受入
- ③ 改良土・砂・碎石の販売

【営業時間】：24時間営業

【定休日】：日曜日

※第2、第4土曜日はPM18:00までの営業。
 ※それ以外の土曜日は日曜日のAM5:00までの営業。
 ※月曜日のAM7:00～再開となります。
 ※祝日も営業しております。

【機材メンテナンスセンター YAMAHA 指定整備工場】 エンジン工具の修理/販売

住 所：〒213-0031 神奈川県川崎市高津区宇奈根 685-4 TEL：070-5024-7946

- 【修理・販売主要工具】
- ① ビーガン ② 電動ピックハンマー
 - ③ 発電機 ④ タンピングランマー
 - ⑤ プレートコンパクター
 - ⑥ コンクリートカッター 等
- ※上記以外の工具の修理・販売も承ります。

【営業時間】：9:00～18:00
 【定休日】：土・日曜日 祝日



特に「ビーガン」の修理については、他社には負けない知識、技術力を持っております!!

株式会社 テクノリアル
 住所：〒143-0021 東京都大田区北馬込 2-30-11 第一中村屋ビル 6階
 TEL：03-6429-9150 FAX：03-6429-9021 HP：http://technoreal.co.jp/

砂・碎石・改良土等販売及び残土・アスファルトガラ・コンクリートガラ等受入致します
 建設土木資材製造販売 建設土木・重機・車両



丸山資材センター



中井資材センター



町屋資材センター

とび・土工事業
 東京都知事(般-5)第109024号

産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬許可番号
 (積替・保管を含む)

東京都 第13-10-025891号
 埼玉県 第01110025891号

産業廃棄物収集運搬許可番号
 千葉県 第01200025891号
 神奈川県 第01402025891号



三郷資材センター 三郷建設発生土改良センター

資 材 セ ン タ ー
 新宿中井 03-3952-3005
 中野丸山 03-5318-0255
 荒川町屋 03-5855-0486
 埼玉三郷 048-952-3529

株式会社 スリー・ケー

本社：新宿 中井
 事務所：〒207-0013 東京都東大和市向原6丁目1405-9
 TEL 042-565-7762 FAX 042-565-7763
 https://m-kkk.co.jp/